

対モーリタニア・イスラム共和国 事業展開計画

2022年 4月 現在

基本方針 (大目標)	社会経済開発及び地域安定化の促進
---------------	------------------

重点分野 1 (中目標)	水産業への包括的な支援
-----------------	-------------

開発課題 (小目標) 水産資源の持続的 利用及び高付加価値化		【現状と課題】 日本はこれまで漁獲、加工、水産物の衛生管理、資源調査船供与等の多岐に亘る支援を実施し、モーリタニアにおける水産業の主要産業化に貢献してきた。近年、国内外の水産資源の需要増大等による水産資源管理の必要性、水産業における雇用創出及び国家経済に対する貢献への期待が高まっているが、水産資源の持続的利用及び高付加価値化の実現のためには多くの課題が残る。	【開発課題への対応方針】 漁獲・資源管理から販売・輸出までの一連の活動を効率化・最適化する（バリューチェーン開発）ことにより、水産資源の持続的利用及び高付加価値化を促進するとともに、同分野における人材育成やガバナンス強化、政策的な助言などを実施することで、水産業による国家経済振興及び雇用創出に寄与する。ジェンダー及び環境配慮に留意する。	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考			
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度				2026 年度		
		水産セクターにおける人材育成や政策への助言を行うとともに、水産資源の持続的利用促進及び高付加価値化を図るため、漁獲・資源管理から販売・輸出までの一連の活動の効率化・最適化を実現（バリューチェーン開発）するための支援を実施する。 水産資源の持続的 利用促進及び高付 加価値化プログラ ム	水産行政アドバイザー	個別専門家											
			水産加工教育	個別専門家											
			漁村コミュニティ開発	個別専門家											
			水産物衛生検査公社スニアティブ検査・分析所建設計画	無償								14.25	8, 12, 14		
			アフリカ地域水産物衛生検査能力強化	第三国研修											
			水産職業訓練センター施設整備計画	無償								19.15	5, 8		
			広域水産資源共同管理能力強化プロジェクト(セネガル・広域)	技プロ											
			課題別研修(水産分野)	課題別研修他											

重点分野2 (中目標)	都市開発・貧困削減・発展の促進													
開発課題 (小目標) 都市開発・貧困削減・発展の促進	【現状と課題】 モーリタニアは、世界で最も貧しい国の一つであり、慢性的な食料不足、基礎的な社会サービスの不足、急速な都市化に伴う無秩序な都市開発、それに伴う都市部における貧困拡大等の様々な問題を抱えている。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、貧困層が増大し、さらに困窮状態に陥っている。モーリタニアの保健システムも医療機器等のインフラが十分であるとはいえず、国民が必要な検査・治療等が受けられない状況が生じている。			【開発課題への対応方針】 保健・教育・食料安全保障など基礎的な社会開発分野における人材育成やインフラ整備等の多角的支援を実施することにより、貧困削減及び経済発展に寄与する。ジェンダー及び環境配慮に留意する。										
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度				
		新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、より困窮し、増大した貧困に対応するべく、特に保健分野の人材育成及びインフラ整備を実施するとともに、食糧援助により、モーリタニアの最も脆弱な層の人間の安全保障の実現に資する支援を実施する。また、教育分野の人材育成及びインフラ整備も実施する。	ODAアドバイザー	個別専門家		■	■	■						
			IFNA推進アドバイザー(セネガル・広域)	個別専門家		■	■	■						
			SHEP広域アドバイザー(セネガル・広域)	個別専門家		■	■	■						
			国立ヌアクショント公衆衛生学校拡張・機材整備計画	無償		■						11.82	3, 4, 5	
			食糧援助	無償		■	■					5.00	1, 2	
			新型コロナウイルス対策強化プロジェクト	技プロ		■	■							
			経済社会開発計画(医療機材供与)	無償		■						1.00	3	
			課題別研修(基礎教育、都市開発、農業、保健)	課題別研修他		■	■							
			青年研修(保健分野)	青年研修		■	■							
	草の根・人間の安全保障無償資金協力(保健分野)		草の根無償		■	■	■					1, 3		
	草の根・人間の安全保障無償資金協力(教育分野)		草の根無償		■	■						1, 4		
	アフリカ若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)		国別研修		■	■								

重点分野3 (中目標)	平和と社会的安定への貢献														
開発課題 (小目標) 暴力的過激主義の モーリタニア国内 への波及・浸透を 防ぐ	【現状と課題】 モーリタニアを含むサヘル地域では、近年テロ、武器・麻薬取引、組織犯罪等の治安問題が深刻な問題となっており、特に周辺国からの暴力的過激主義の流入や組織犯罪の防止が喫緊の課題となっている。					【開発課題への対応方針】 国境ポストへの機材供与、刑事司法や対テロ分野での人材育成を通じて、モーリタニアへの暴力的過激主義の波及を未然に防ぎ、同国の平和と安定の強化に寄与する。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度					
		国境管理能力の向上を支援し、暴力的過激主義の国内流入防止を支援するとともに、テロ、武器・麻薬取引、組織犯罪対策及び難民対策等に対処する政府当局の能力強化に資する支援を行う。	経済社会開発計画(治安機材供与)	無償	■							2.00	16		
			仏語圏アフリカ刑事司法	国別研修	■										
			G5サヘル諸国・周辺国における地方行政能力強化による政府と住民間の信頼醸成	国別研修			■	■	■						
			アフリカ諸国向け職業訓練フェーズ5(セネガルCFPT)	第三国研修			■	■	■						
	課題別研修(ガバナンス、職業訓練)		課題別研修他		■	■									
	青年研修(職業訓練分野)		課題別研修他		■	■									

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力をスキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実証」(=実証)、「破線」(=破線)、「——」(=実施期間)、「——」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf